



トチ餅をつくるまでの作業を体験



ホルダーを寄贈した岡田代表（右）



どの米も美味しくて審査が難しい！?



お披露目された「ちのりん」

昔の暮らしを学ぶ
12月6日(金) 智頭小学校
智頭百業と智頭小学校は、春から「栃の実の生態と食文化」について学習を重ねており、今回は5年生がトチの皮むきから、トチ餅をつくるまでの作業を体験しました。
講師の寺谷恒雄さん夫妻は「伝統を受け継いでもらいたい」と、昔の道具を用いた皮むきや、栃の実に灰を混ぜるとアクが抜ける仕組みを教え、自然の恵みをいただく苦労と大切さを伝えました。

町の福祉に貢献
11月27日(水)
福祉用具を扱う(株)健美堂(岡田勝彦代表)が会社の創業20周年を記念して、電動トイレレットペーパーホルダー10台を寄贈してくださいました。
このホルダーはセンサーに手をかざすと必要な分だけ自動でトイレレットペーパーが出てくるもので「町の公共施設に必要な物だと感じました」と岡田代表から町長へ手渡したあと、各公共施設へ設置しました。ありがとうございました。

「ちのりん」お披露目＆
旨い米ナンバーワン決定!!
11月16日(土) 智頭農林高校
智頭農林いきいき交流まつり
& 智頭農林高校農林祭が開催され、開会式では、麒麟獅子舞の上演や観光甲子園優勝報告などが行われ、智頭農林高校ならではの式となりました。また、智頭農林高校のマスケットキョウクター「ちのりん」の着ぐるみが初めてお披露目されたほか、高校生が生産した新鮮な野菜の即売には、約200人以上が並び、どの大盛況で、準備した野菜はすぐに完売しました。
好天にも恵まれ、町内外から500人以上が訪れた会場では、高校生や参加団体による食のバザーや曲げわっぱ作りをはじめとする体験や木工教室、杉の葉ツリーの作成などを通して、農林業の恵みが体感できました。また、同時開催された「旨い米ナンバーワン決定戦」で上位入賞された皆さま、おめでとうございます！
優勝 藤森 英之さん(口宇波)
2位 白間 恭司さん(井上)
3位 草刈 章博さん(石田)
4位 三輪圭一郎さん(五月田)
5位 徳永英太郎さん(木原)



野見宿禰の社



森のようちえん「まるたんぼう」の様子



作業に汗を流すみなさん



小学校の読書活動の取り組み

キラリ光る匠の技
(有)小坂板金(小坂昇代表が、出雲大社に新しく創建された野見宿禰を奉る社の屋根葺きを行いました。この屋根葺きは全国の板金屋が断った難しい仕事で、急遽依頼されそうです。設計図もないなか、現物に合わせながら3日間という短い時間で仕上げ、出雲大社へ納めました。
出雲大社へお出かけの際はぜひご覧ください。
※野見宿禰：相撲の神様

「森のようちえん」がグッドデザイン賞を受賞
町の豊かな森で1年を通じて活動し、親も運営に関わる「共同保育」が評価され受賞しました。
林業が衰退した山村で、新しく「森」を次世代育成の場として活用するという「森のようちえん」のあり方は過疎化に悩む田舎に光を当てるものです。
『お知らせ』
2才児対象の親子組(毎週金曜日開園)の募集を1月中に、まるたんぼうHPでおこないます。

森林セラピーの新しいコースを検討
11月24日〜26日 天木集落内
土師地区振興協議会(河村博恭会長)と天木集落が協力して、15人が、3haの土地に生い茂った茅や雑木等を伐採しました。
3日間に渡る作業の結果「今後、どのようなルートでコースを設置するのか」、「コース周辺の環境」など、実際に現地を見ながら、具体的に検討する準備が出来ました。新しいコースとして利用される日が待ち遠しいですね。

読書活動を評価
11月18日(月)智頭小学校
小学校の読書活動の取り組みが、教育功労団体として『鳥取県教育委員会表彰』を受けました。
学校や図書館司書らが連携をとり「保護者会等による読み聞かせの実施、子どもと本についてのPTA研修会の開催、定期的な町立図書館からの支援」など、様々な体制を整えています。今回表彰を受けたことで、さらに図書館機能の充実と保小中の連携した取り組みが進んでいくことになります。